

# 矢野口地区

令和6年11月20日 (矢野口自治会館)

No.	質問内容	回答
1	<p>●学校給食無償化について            少子高齢化対策として、また子育て支援として学校給食無償化に踏み切る区市町村が都内でも増えてきました。本市においても、令和7年1月から無償化にすることになるとのことですが、無償化に至った経緯や今後の問題点や、不安要素、また市民のみなさまに知ってもらいたい事柄等ございましたら、ご説明ください。</p>	<p>学校給食費につきましては、学校給食法に基づき、児童・生徒の保護者が負担することが基本であると考えております。学校給食費無償化につきましては、居住する自治体によって保護者の負担に著しい格差が生じることがないように、国や都が広域的に対応すべき問題であると認識しております。            これまでも、物価高騰に伴う保護者の負担軽減として、学校給食費の一部を補助してまいりましたが、この度東京都が現在の東京都公立学校給食費負担軽減事業補助金による補助制度に加え、学校給食費無償化を実施する市町村に対し新たな財政支援として「市町村総合交付金」を拡充すると報道発表があったため、国が全国的な学校給食費無償化を行うまで、都が示された補助水準が継続する間は、市立小中学校の給食費の無償化を実施することとしました。            今後の課題としては、物価高騰に伴う食材費の高騰や無償化に伴う経常的な経費負担の増大がある。</p>
2	<p>今後食材のさらなる高騰により東京都の補助が厳しくなった際の対応はどうか。</p>	<p>学校給食費の食材費は自治体により異なり、東京都の補助も無制限ではない。現状は東京都の補助単価は概ね各自治体の単価を上回っているが、今後食材の高騰により補助単価を上回った際は再検討していく必要がある。</p>
3	<p>●稲城市立病院の紹介受診重点医療機関化について            昨年8月から稲城市立病院は紹介受診重点医療機関となり、紹介状なしでの初診を受ける際には、7,700円の特別料金がかかるようになりました。            誰でも受診できるようになると病院に患者が集中し混雑してしまう事情もわかりますが、市立病院ということで市民なら特別料金なしでもいいように思えます。そこでそれに至った経緯と特別料金の必要性についての解説をお願いします。</p>	<p>紹介受診重点医療機関とは、地域のクリニックなどのかかりつけ医などからの紹介状を持って受診いただくことに重点をおいた医療機関です。これは、患者さんがまず「かかりつけ医機能を担う医療機関」を受診し、必要に応じて紹介を受けて、紹介受診重点医療機関を受診する、その後状態が落ち着いたら逆紹介を受けて地域に戻る、といった受診の流れを明確にすることを目的とした国の制度に基づいたもの。            稲城市立病院では、南多摩保健医療圏における東京都地域医療構想調整会議の協議の結果、令和5年8月に紹介受診重点医療機関に指定されました。これに伴い、令和5年度第3回市議会定例会にて、非紹介患者初診加算料にあつては2,600円を7,000円に改定、再診患者にあつては新たに3,000円の再診加算料を新設する旨の条例改正を上程し、可決され、令和6年2月1日から施行しました。            かかりつけの医療機関と紹介受診重点医療機関である当院との役割分担によりまして、患者さんが適切な検査や治療をよりスムーズに受けられるようになることから、ご理解のほどお願いしたい。</p>
4	<p>新型コロナウイルスのPCR検査を市立病院で受けた際、診察を受けていないが費用が発生したのはなぜか。</p>	<p>コロナは指定感染症の扱いになったため、保健所が行う行政検査で対応を始めたが、保健所がパンクし、医療機関に要請があった。医療機関での検査へ拡充したため、診療扱いとなり費用が発生した。</p>

No.	質問内容	回答
5	<p>●救急車利用の有料化について  現在、全国的に救急車の不適正利用について問題視されており、本市においてもそういったケースが決して少なくないとお聞きました。  そういった不適正な要請を抑止するために不適切と判断した場合、有料化する自治体もあるようです。また、本市も人口の増加に伴い、救急車の出動要請が増えてきているそうです。  本市においてはそういった緊急性が認められなかった場合に有償化することを検討しているか、また不適正な利用を減らすために救急安心センター事業(#7119)についても解説等よろしくお願います。</p>	<p>●救急車利用の有料化について  令和6年4月から、三重県松坂市において、入院を伴わない救急搬送は有料化されるという報道がございました。また、令和6年12月から茨城県においても救急車の有料化という報道がございますが、表現は適切ではございません。正確には、三重県松坂市や茨城県で実施されているのは20床を超える医療機関において、救急車で搬送された軽症の救急搬送患者に対して「選定療養費」を負担していただくもので、医療機関に支払うものです。  この背景には、2024年4月から医師の働き方改革の一環として、時間外労働時間の規制強化があり、救急搬送患者が多く搬送される大病院において、救急医療のさらなるひっ迫を抑制することと、救急搬送の50%を占める軽症患者の容易な救急車の使用を抑制することを期待して導入されていると認識している。  本市では、まず救急車を正しく利用していただくため、広報いなぎや、市ホームページ、X(旧Twitter)や応急手当に関する講習などにおいて、適正な利用を呼び掛けるとともに、#7119(救急相談センター)#8000(小児救急電話相談)の活用や救急受診アプリ(愛称「Q助」)の活用をお願いするなど、救急車の適正利用に関する取り組みを推進している。  今すぐ有料化することは考えていない。</p> <p>●(#7119)救急相談センター事業について  (#7119)救急相談センターは急な病気やけがをして病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷った時の相談窓口です。医師、看護師、救急隊員経験者等が24時間年中無休で対応しています。相談内容から緊急性が高いと判断された場合は救急車を向かわせます。また、救急車を要請するには至らない場合、#7119を通して家庭での対処法や症状にあった医療機関の案内を受けることができます。</p> <p>●小児救急電話相談(#8000)について  休日、夜間のこどもの症状に対し、どのように対処したら良いのか、病院を受診した方が良いのかなど、判断に迷った際に小児科医師、看護師に電話で相談することができます。</p> <p>●全国版救急受診アプリ「Q助」について  急な病気や怪我をしたときに該当する症状を画面上で選択していくと緊急度に応じた必要な対応が表示されます。その後、医療機関の検索や受診手段の検索を行なうことができます。</p>
6	<p>ジャイアンツタウン構想が予定通り進んでいるか進捗がわからない。</p>	<p>ジャイアンツスタジアムは来年3月にオープン予定と聞いている。球場前の道路は球場オープン前に開通させる予定。  告知は広報紙やシンポジウム等で行っていく。</p>
7	<p>矢野口地区は食事をする箇所が少なかったり、道路が暗かったり、交通のアクセスが悪いなどの課題があるが、市長はどのように考えるか。</p>	<p>街づくりは矢野口地区だけではなく、市全体を段階的に行っている。近年は上平尾や小田良の開発が目立っているが、その前はニュータウンや南武線の連続立体交差など段階的に行ってきた。  稲城は畑が多く暗いが、街路灯は一定の基準に基づいて設置している。外食産業に関しては、市内では飲食店が潰れてしまうことが多い。導入経費の補助は行っているが、全てを行政で行えるわけではないことはご了承いただきたい。</p>
8	<p>温暖化の影響で農業が年々厳しくなっており、さらなる支援をお願いしたい。</p>	<p>稲城の基幹産業は農業だと考えている。品種改良だけでなく、転作も選択肢の1つとなっている。いずれにしても市としてはしっかりと農政をバックアップしていくことを約束する。</p>